

法人設立後、様々な状況の変化に対応してまいりました。昨年、介護や保育などの施設運営する社会福祉法人の改革策を盛り込んだ、社会福祉法が改正されました。

今回の改正によって、全ての社会福祉法人は定款を変更しなければならなくなり、評議員と理事との兼任はできなくなり、評議員が理事、監事を選任し、評議員の任期は4年、理事・監事の任期は2年となりました。また事業運営の透明性の向上、財政規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務の規定、内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下、行政の指導監督機能の強化が行われます。今年度4月1日からの施行のために、昨年から準備を進め、新しい出発をしました。

定款の変更の機会に、長年の懸案であった法人の名称を変更することとなりました。新しい法人の名称は『呉ハレルヤ会』です。

法人の名称変更を悲しく、残念に思われる

方も居られることでしょうか。今回の経緯を説明させて頂きます。これまでの法人名の『政樹会』は、一般には「せいじゅかい」と読まれます。漢字は違いますが、同じ読みが施設が呉市にあります。それで「まさきかい」とフリ仮名を付けなければなりませんでした。

また、神の憐みによって、呉ベタニアホームで始まった事業も、長迫、ハレルヤと施設が増え、働きが拡大してまいりました。このような神の祝福を見ますと、キリスト教施設としての社会的責任、証しの使命の自覚をすることです。いよいよ神の前に遡り、神のみが崇められることを祈り求めて、進むことを示されました。こうしたことから、新しい名称に「ハレルヤ」(ヘブライ語で「神を誉め讃える」という意味)を入れた次第です。

法人設立から20年となりましても、信仰のスピリットは変わりません。初心に帰って、良き証しが立てられるよう、神に祈りつつ、一步一步、さらに前進します。続いて、お祈りとご支援を心からお願ひ申し上げます。

## コンサートのために 施設紹介の冊子を作りました。

呉ハレルヤ会の各施設の紹介です。  
どうぞご利用ください。



## ケアハウス

### ラジオ体操を始めました。

5月より、毎週火曜日の昼食前に、ラジオ体操を始めました。



## 感動の

### レーナ・マリアコンサート

去る5月27日(土)、社会福祉法人設立20周年の記念事業として、「レーナ・マリアコンサート」を、呉市文化ホールで開催しました。

開場前から多くの人々が集まり、一階は、ほぼ満席の状態で、招待者席も用意が出来ず、みんな席を譲り合って座っていただきました。入場者は千人近くでした。

午後3時から、呉ベタニアホームの施設の紹介映像に続いて、法人を代表して統括施設長の里村佳子の「このコンサートで、多くの人と生きる勇気と希望を分かち合いたい」との挨拶でコンサートが始まりました。



レーナさんの7分間の紹介映像の後に、いよいよレーナさんの登場で、会場は静まり返りました。手足に重い障がいを持ちながら、明るく、にこやかに、みんなの前に登場し、日本語で挨拶され、讚美歌『輝く日を仰ぐ時』を全曲暗譜で歌われたことに、心を奪われました。次の曲は『上を向いて歩こう』で、みんなに、一緒に歌ってほしいとジエスチャアするのです。これで、会場みんなが融け合いました。「わたしは両親からないものに不満を持つのではなく、あるものに感謝するように育てられました」と語り、『一羽の雀』を歌いました。

1998年、長野パリンピックの開会式で歌ったレーナさんは、頼まれて善光寺の畳の上で、ゴスペルコンサートをし、『キリストには代えられません』を賛美したと話され、聴衆に

驚きと感動を与えました。『ジャパン・イン・マイ・ハート』の曲に、会場が手話をつけて応答するハプニングもありました。

レーナさんが、日本でのコンサートは、今年で25周年となり、そのことを感謝するサプライズも用意されていました。

アンコールの後、施設に入居して居られる98才の黒阪璋さんから、レーナさんに、花束が贈呈され、二人の間に暖かい心の交流がありました。(3番目の写真)

コンサートの最初から最後まで、レーナさんと聴衆の心が通い合い、レーナさんの歌声によって、心が洗われる、幸いなコンサートとなりました。